

花高同窓会報

発行 秋田県立花輪高等学校同窓会
編集 花輪高等学校同窓会会報部
印刷 川嶋印刷株式会社



卒業生諸君へ
会長 杉江宗祐

三年という短い学業期間ですが
沢山の思い出を胸に秘め、新しい
社会へ旅立たれる卒業生の皆さん
へ、心より「おめでとう」を申し上げ
ます。

県内一グレードの高い、環境の
整った木造校舎で学ばれた皆さん
は大変ラッキーであり、充実した
日々を送られたものと思います。
校舎の完成までに十数年を要し
ました。PTA、同窓会、教育・
行政関係省等、多くの方々のご支
援の賜です。

これから皆さんが進まれる道は、
どんな道でしょうか。それぞれに期
待と不安が交錯していることでしょ
うが、二十一世紀という時代は、間違
いなくあなた方の時代です。

進学される諸君も、就職される
君も、大志をもってひたすら邁進
してほしいものです。

時には、苦難や挫折と遭遇される
ことがあっても、本校で培われた、花
高魂さえ持ち続ければ飛躍のチャン

スにあい見えることでしょう。

青垣をめぐらす嶺々は、まだ残
雪に覆われておりますが、木々は
新しい芽を膨らまし、春の到来を
待ちわびております。

ふる里鹿角は、間もなく桜が開
花し、百花爛漫の季節を迎えます。

人々は美しい桜の花に目も心も奪
われますが、華やかな桜も、それを支
える枝があるから花を付けることが
できるのです。また枝は幹によって、
幹は根によって支えられ生かされて
おり、土に埋もれている根毛こそ重
要な役割りを果たしております。

人間社会も同じです。常に日向に
隠れ、支えている人々がおられること
を忘れないでほしいものです。

本校は今年創立八十周年を迎え
ますが、その記念すべき年に皆さん
は同窓会員となられます。いろ
んな場面で母校と社会との架け橋
になっていただければ幸いです。
世界へ向かって飛躍する皆さん
を、先輩達は見守っております。



新校舎に思う
校長 小笠原友行

明堂長根の丘の上に鶉色の勇姿
を誇る新校舎に移転して十五ヶ月
余、待ちに待った第一・第二の二
つの体育館もようやく完成しまし
た。花輪高校としては三代目の校
舎ということになります。自らが

学んだ校舎にはその人ならではの
思い入れがあるはずで。新田町
の初代の校舎は校門跡の枝垂れ桂
の木が往時を偲ばせるのみです。

二代目の校舎からは数多くの品が
新校舎に引き継がれております。
同窓生の皆さん一人一人が、それ
ぞれに持っている母校への思いを
大切にし、新校舎で更なる花輪高
校の歴史を刻んでいきたいと考え
ております。

私自身のことになりましたが、卒
業した小学校は改築されて新校舎
になりました。中学校は統合によ
って廃校になり、我々の学んだ校
舎は誘致企業の工場として使用さ
れています。高校も改築されまし
た。したがって校舎そのものに私
自身の思い出を重ねることはで
きません。しかし、校舎はなくて

も、共に学んだ仲間やそこで学ん
だ一日一日は、校舎以上に「思い出」
として心の中に残っています。

今年卒業した皆さんは、二代目
の校舎と三代目の校舎の二つの校
舎で学ぶことができました。同級
生と力を合わせて運んだ引越作
業も貴重な思い出になるはずで
す。親子二代引越越し作業を体験
したという人もいるはずで。し
かも新校舎はこれから数十年間に
わたって、この地で卒業後の皆さん
の成長を見守ってくれることは
確実です。地元に残っているも、折
地に離れることになっても、折
に触れて母校を訪ね、校舎に向か
って「元気でいるかい。自分も頑張っ
ているぞ。」と話しかけて欲しいと
思います。校舎に向かって話しか
ける皆さんの声が、後輩たちへの
大きな励みになります。母校の
発展する力になります。

新年度には創立八十周年の記念
行事もいろいろと予定されており
ます。同窓生の皆様のご協力をよ
ろしくお願いいたします。

各支部からの激励のたより

同窓の絆を大切に

秋田支部

支部長 橋野清蔵

母校、秋田県立花輪高等学校の創立80周年を迎え、心からお慶び申し上げますとともに、機を逸することなく、校舎、体育館の新築にご尽力されました皆様には深く敬意を表します。

80年という長い年月において、幾多の厳しい社会情勢や教育環境の変遷のなかで、今日まで育んで来られました教職員、同級生の皆様、そして、何よりも俺らが学校として、同窓を問わず守り立てていただいております地元の方々のお力添えによって、母校の伝統が築き上げられたものであります。

県内の高等学校の中には、母校をしのぐ歴史を持つ高校も多いのですが、近年における母校の生徒諸君の活躍は目覚ましいものがあります。特に、スキー部においては、全県制覇はもとより、国体、インターハイでの優勝など数々の輝かしい成績をおさめており、大きな喜びと感動に浸っています。母校で培われたチャレンジ精神は、卒業後も大きく飛躍し、各地、各分野において活躍されていることは誠に喜ばしいことであります。

さて、私共、花輪高等学校同窓会秋田支部は、平成6年2月22日、故渡部正一さんのご尽力により発足い

たしましたが、その後、渡部会長は病魔に侵され、残念ながら平成9年7月帰らぬ人となったのであります。暫くの間、支部活動も休止状態にありましたが、本部の指導と同窓生の熱意により平成14年2月22日、奇しくも同窓会発足の同月日に再びスタートを切ることができ、今日に至っております。再スタートにあたり、同窓会名簿から370名の方々に通知いたしました。返信あったのは186通で5割にとどまっております。当日の出席者は79名でしたが、

その後の集いの参加者は減少の傾向にあります。郷土、鹿角の思いを語り合う同窓の絆の場であり、多くの方々に参加していただくよう努めているところでもあります。その方策の一つとして、趣味等を通じた仲間の会を立ち上げ、そうしたグループの数を増やして、それぞれのグループから同窓生への呼びかけをし、参加者の輪を広げ、活発な交流を図って参りたいと思っております。

趣味の会の第1号は、平成14年に発足した「ゴルフ同好会」です。会員は20名ほどですが、年3回のゴルフコンペを楽しみ、3回目の最終コンペでは、懇親会を行い1年の反省とふる里や母校の思い出話を親睦を深めています。

今後、秋田支部の活動を活発に行い、同窓の皆様との交流と親睦に努めて参りますので、皆様のご協力、ご支援をよろしくお願い致します。

創立80周年、世界に飛翔する人材育成のまほろばとして

岩手支部

支部長 奈良憲光

わが母校、花輪高校は新校舎の落成とともに創立80周年を迎える。

激動の昭和、平成の歴史とともに、若人の汗と涙を刻んできた。心から祝福を申し上げ、今後の隆盛を期待するものである。

昨年暮れ、同期生の集まりが東京で開かれた。母校を巣立って半世紀を経た懐かしい心暖まる級友と「人生と母校」とでも言うべき談話で一夜を過ごした。

鹿角での青春時代、そして幾多の人生の峠を越え、今みているこの現実。高校生活の大切さが如実のものになって甦る。

校歌に「国のまほろば」とある。わが国の中でもっともすぐれたよいところとの意味であるが、母校こそその土壌であってほしい。

幸い、私は尾去沢鉱山で母校を卒業するまで過ごした。鉱山は巨大な好奇の源であった。化学、地学、工学、だけではない。経済、政治、そしてそこに住む人々のロマンがあった。若き日々このころを刺激し、未来を夢見る土壌があった。

地域と母校との関連の大切さが痛感させるものである。

近年、アメリカでチャータースクールが話題になっている。地域の人々が英知を結集して運営する公立学校である。

花輪高校は鹿角の教育の雄として幾多の優れた人材を輩出してきた。地域の人々もそれを支えてきた。まさにチャータースクール的な支援体制が確立できうる地域である。

同窓生、地域の人々が総力を結集してまさにビル・ゲイツに匹敵するような、世界を飛翔し続ける人材が輩出できる環境と母校を造ってほしいものである。

創立80周年、次なる時代を招く人材づくりへと再挑戦する好機である。

母校への雑感

宮城支部

支部長 塚田昭彦

我が母校、花輪高等学校80周年、誠にめでとうございます。私は第8期昭和31年3月に卒業致しました。

在学当時の思い出としては、2年生の時に音楽の先生であります渡辺先生のご指導のもとにハーモニカバンドが出来たことでした。そのバンドが発展してブラスバンドとなり全国の吹奏楽コンクールで優秀なバンドとして、何回も表彰されたことを友人から聞いたり、仙台でも周囲の人達から花輪高校は素晴らしい高校だと言われ、その事が我が事のように

嬉しく、全国的に有名になった母校に対して非常に誇りに感じた次第であります。ご指導いただいた先生方そして後輩の皆様の並ならぬご努力に対して感謝を申し上げる次第であります。

さて話は一寸それますが、10年程前になりますが、ある会合で同窓会の元会長の関様より同窓会の支部が全国に数ヶ所あり、岩手と東京の中間の宮城にはないので、ぜひ支部をつくるよう要請されましたがしばらくは聞き流しておりました。ところがその後何回かの会合でお会いする度に、支部設立を催促され元会長の熱意に逃れようがなくなり、7年程前に同窓会本部より母校の宮城県在住の卒業生の名簿をいただき、多数の方々のご協力をいただいてやっと



同窓会宮城支部創立80周年記念会合にて撮影
平成16年7月27日

設立致しました。お陰様で7年も続いております。その間毎年の支部総会には同窓会会長そして歴代の校長先生には、わざわざ私共のためご出席いただき深く感謝申し上げます。これからは、これからも細く長く続けて参りたいと思っておりますので、同窓会本部のご支援と同窓会会長並びに校長先生のご出席をよろしくお願い申し上げます。後になりましたが、我が母校の花輪高等学校がこれからの100周年をめぐりして発展していただくことを、遠い仙台の地から心からお祈り申し上げます。

40 数年前の生徒会活動

関西支部
支部長 坂 本 信 雄



人生のなかでもっとも多感な年頃は高校時代であろう。その頃、私達はまだ舟場から入って校門の「しだ

れかつら」を見ながらの通学だった。何となく風情を感じた同級生も多かったに違いない。あり余るエネルギーは校舎内に止まらず、米代川の川岸周辺でのクラブ活動？ などにも及んだ。吹奏楽部やコーラス部などの文科系も活発だったが、野球部や柔道部などの体育系はまだ硬派の雰囲気。校舎内外で漂わせていた。生徒会長としての私は何とか軟派と硬派に共通の関心事を取り上げようとして、これが長髪（それまではいわゆる五分刈り）の実現に向かわせた。びつくりするようなイベントは、昭和36年（1961年）に全国高校生スキー大会が開催されたことだ。もちろん花高始まって以来のことだ。私は若干の不安と期待をかかえて準備を手伝った。開催校として、当時の宮腰校長先生に続いて挨拶をした思い出が大きい。雪運び・雪踏みなどの全員参加型の手伝いを通じて、大会終了後には皆な田舎の高校生から一皮剥けたようにも思えた。

このほか、購買部の実現などに取組んだことなど、思い出は尽きない。それはある意味で向こう見ずの猪突猛進みたいなところがあったであろう。それを温かく見守ってくれた当時の先生方、なにかんずく生徒会担当の木村雄三先生のご苦心？ が自分が年齢を重ねるほどに思い出されてならない。長髪も購買部も私達が卒業した翌年の後輩からその恩恵？ を受けることになったが、私にとっては勉強とはほど遠かった高校時代こそ我が人生の原点と思えてならない。

高校 第七期同期会便り

平成16年度幹事

戸田裕子・早川紀子
籠屋公夫・宝田正志

我々は昭和30年3月卒業の同期生であり、来年は卒業後50年の節目を迎える。花高7期の卒業生は5クラス約250名であった。昭和48年にA組阿部淳君や吉田尚武君の音頭とりで始まった同期会は、一部パスした年もあったがほぼ毎年のように開催を継続してきた。卒業後の進路はそれぞれ進学、就職そして結婚と首都圏に出てきた人が多いので、東京を中心に開催されている。しかし参加者は首都圏は勿論、



地元鹿角市をはじめ北は北海道から青森、秋田、岩手、山形など東北そして静岡、時には大阪など各地からのその日の参加を楽しみに駆けつけ旧交を温める。現在把握している30名の物故者男性27名、女性3名もある中で、顔ぶれは毎年入れ替わるものの例年30名以上の参加をみる盛況ぶりである。4月東京五反田「ゆうほうと」で開催された今年の会にも昨年引き続き米国在住の旧姓箱崎裕子さんもフライトで駆けつけてくれたのには一同感激した。普段は英語圏で生活しているも同期が集えば日本語と鹿角弁である。国際化が益々進行する21世紀は世界に雄飛する花高生もさらに多くなるであろうし、それを垣間見た例会だった。

またこの会で特筆すべきことは、恩師の西沢昇先生（東京在住）が必ずご出席して下さる

ことである。先生は早稲田大学を卒業後すぐ当校に着任され国語を担当された。花高在職は2年間と短かったが、我々の年齢に近いことから兄貴分の感覚で親しみやすい先生だった。現在もかくしゃくとして地域の文化活動等で活躍されており、計らずも恩師の講義を拝聴する羽目となる。まもなく齢七十台にも届かんとする同期会とありながら、一次会で終わることはない。ほぼ全員が揃って二次会のカラオケへと移動する。ここでは女性群の活躍が目立ち、道を誤ったかと思ふほどの歌姫達の美声に酔いしれる。カラオケ会場での締めは決まらず「青い山脈」と「高校3年生」(若い同窓生諸氏にはこの曲わかるかな?)の大合唱となる。さらにここでも終わらず有志は3次会、そして同宿のホテルで一夜を明かし翌日は東京のニュー・スポットへグループツアーと、タフな同期会である。今年は今話題の六本木ヒルズでのランチを終え、1年後の再会に名残を惜しみつつ解散と相成った。幹事役も参加者もいつまでこのような楽しくタフな同期会がつづくか先行き不明である。しかし日本の高度成長期を下支えした自負をもち、今ようやく安息を得た世代のチョー元氣な花高卒業生の一端を紹介した。

80周年を前に



昨年の12月22日に、花輪高校創立80周年記念事業実行委員会を開催し、記念行事として、新校舎落成竣工式、並びに80周年記念式典、合同祝賀会を平成17年10月7日(金)に実施することに決定致しました。

式典関係の会場は、本年2月に完成した、本校第一体育館、祝賀会は鹿角パークホテルで行うことになりました。

記念行事としては、次のように実施計画を立案しております。



秋田県立花輪高等学校創立80周年記念式典、並びに新校舎落成竣工式及び祝賀会にご参加下さいますよう、ご案内申し上げます。

平成17年3月1日

秋田県立花輪高等学校
 学校長 小笠原 友 行
 秋田県立花輪高等学校
 同窓会会長 杉 江 宗 祐

記

竣工式 平成17年10月7日 13時～
 本校第一体育館

記念式典 平成17年10月7日 15時～
 本校第一体育館

祝賀会 平成17年10月7日 17時～
 鹿角パークホテル
 会費 5000円
 (会費は当日ご持参下さい)

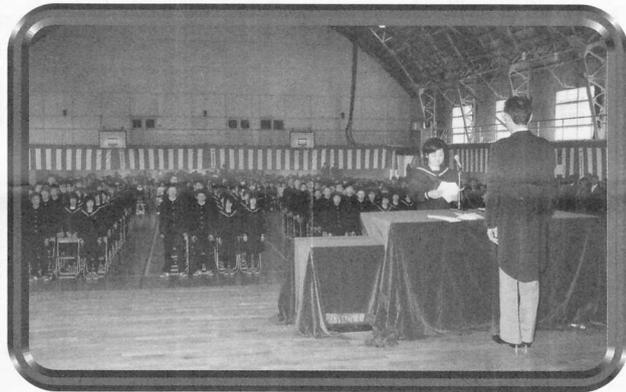
聞くところによりますと、記念式典、祝賀会等に出席のため同期会を兼ねて、遠方より、多数の会員の方々のご参加をいただけるという情報も入っております。

かつての部活の仲間、あるいは、同期の会合等、地元での集まりを計画しながら、多数の方々のご参加をお待ち致しております。

まだ、木の香ただよう新校舎の見学をかねながら、どうぞ足をお運び下さい。

- **総務部** (同窓会担当者 山崎庸二)
 全体総括と記念品
- (CD制作)校歌・応援歌
- **事業部** (同窓会担当者 阿部洋右)
 ・教育相談室に接続セット、書棚、陳列棚等の購入、案内表示板設置、校名版取り付け工事
- **行事部** (同窓会担当者 黒沢義晃)
 ・各部活招待試合(野球部、男子バスケ部、ソフトボール部、女子バレーボール部)
- **記念講演** (アテネオリンピック男子陸上一六〇〇米リレーメンバー 伊藤友広選手)
- **花高OB講演** (未定)
- **式典部** (同窓会担当者 大森昌雄)
 ・記念式典及び祝賀会の立案と実施

- **刊行部** (同窓会担当者 渋谷恵子)
 ・記念誌作成(70周年～80周年まで)
 - **生徒会**
 ・テーマ募集
 ・芸術観賞教室
 (和楽器演奏―白神WARABE)
 ・各種生徒会行事を記念事業の一環として、内容を検討し実施する。
- 同窓会員の皆様も、新校舎の見学をかねて生徒会主催行事の見学や応援に、ふるって学校を訪問していただけたら幸いです。
- 80周年記念式典、新校舎落成竣工式、祝賀会のご案内を、同窓会員全ての方々に差し上げるべきところではありますが、予算面、その他の事情で、不可能と思われるので、この同窓会報をもってご案内にかえさせていただきます。



旧校舎最後の入学式

新校舎落成竣工式・80周年記念式典祝賀会への申し込み窓口

鹿角市・その他地域 花輪高校同窓会事務局
 TEL.0186-23-2126(事務室) / 3709(職員室)
 FAX.0186-23-2137

秋田支部 事務局 関 紀夫様(KKランデックビル開発)
 TEL.018-866-3521

岩手支部 支部長 奈良憲光様
 TEL.019-654-0300

宮城支部 支部長 塚田昭彦様
 TEL.022-272-2211 FAX.022-272-2222

東京支部(花栄会) 幹事長 石井政光様
 TEL.047-327-0770 FAX.047-327-0773

関西支部 支部長 坂本信雄様
 TEL.090-4035-0976

メール sakamoto@kyotogakuen.ac.jp

参加希望の方は、9月20日(火)までにご連絡下さい。

新会員名簿

A組 担任 内川 繁先生

秋本 俊敬 (花輪第二)

阿部 小百合 (八幡平)

阿部 喬行 (八幡平)

阿部 正樹 (八幡平)

阿部 桃子 (八幡平)

大森 菜保子 (十和田)

小山内 樹彦 (尾去沢)

木村 孝弘 (花輪第二)

木村 真之 (花輪第二)

工藤 直樹 (花輪第一)

工藤 偉平 (尾去沢)

栗山 卓也 (八幡平)

黒澤 幸子 (尾去沢)

佐藤 幸一郎 (八幡平)

佐藤 幸一郎 (八幡平)

関田 慎太郎 (花輪第一)

高田 卓也 (八幡平)

高見 彩子 (尾去沢)

土館 里華 (花輪第一)

永吉 健志郎 (花輪第一)

奈良 毅 (十和田)

奈良 はるか (花輪第二)

藤田 智也 (十和田)

松山 洋樹 (尾去沢)

三浦 翔 (尾去沢)

柳館 綾 (花輪第一)

山本 薫 (花輪第二)

和田 真琴 (花輪第一)

担任 奈良奈津子先生

担任 原田由佳先生

浅水 恵理子 (花輪第二)

東屋 美穂 (花輪第一)

阿部 岳晃 (花輪第一)

阿部 真季 (八幡平)

阿部 未季 (八幡平)

阿部 由季乃 (八幡平)

担任 伊藤栄治先生

山田 さゆり (小坂)

村田 慎也 (花輪第二)

宮川 飛鳥 (十和田)

丸岡 小夏 (花輪第二)

松岡 麻美 (尾去沢)

花田 素子 (成章)

西宮 久美子 (比内)

中村 司 (小坂)

兔澤 正隆 (花輪第一)

千葉 之胤 (十和田)

田中 隼司 (花輪第二)

田中 淳美 (比内)

田口 麻奈美 (花輪第二)

高杉 重仁 (尾去沢)

相馬 由香 (花輪第二)

高橋 幸 (花輪第一)

高橋 未希 (花輪第一)

菅原 亜有子 (花輪第一)

佐藤 稚子 (八幡平)

佐藤 慶枝 (尾去沢)

佐藤 充 (花輪第一)

担任 伊藤栄治先生

担任 伊藤栄治先生

新斗米 未希 (花輪第二)

池田 瑞華 (小坂)

石木田 強太 (花輪第一)

植澤 亮介 (花輪第一)

小田切 梢 (花輪第二)

小田嶋 直美 (花輪第二)

尾樽部 圭介 (小坂)

加賀 愛美 (大湯)

川又 和希 (花輪第二)

木村 康子 (十和田)

切田 昌吾 (花輪第一)

齊藤 雅貴 (花輪第二)

佐々木 洋平 (花輪第一)

佐藤 絵理菜 (花輪第一)

佐藤 菜摘 (花輪第一)

佐藤 晴香 (花輪第二)

佐藤 麻衣子 (尾去沢)

洪谷 遥 (八幡平)

相馬 由香 (花輪第二)

高杉 重仁 (尾去沢)

田口 麻奈美 (花輪第二)

田中 淳美 (比内)

田中 隼司 (花輪第二)

千葉 之胤 (十和田)

兔澤 正隆 (花輪第一)

中村 司 (小坂)

西宮 久美子 (比内)

花田 素子 (成章)

担任 伊藤栄治先生

担任 伊藤栄治先生

安部 千尋 (八幡平)

石川 春香 (花輪第二)

角館 美穂 (安代)

金沢 杏 (十和田)

金澤 由季 (尾去沢)

亀田 明希 (小坂)

木口 真彦 (尾去沢)

木村 勇介 (花輪第一)

切田 勝之 (花輪第二)

工藤 美穂 (安代)

黒澤 真美 (花輪第二)

黒沢 麻利子 (十和田)

児玉 純一 (花輪第二)

齊藤 えり子 (十和田)

酒井 勇太 (花輪第二)

澤田 知佳 (花輪第二)

澤田 裕美 (小坂)

菅原 智史 (花輪第一)

杉江 祐太 (花輪第一)

高橋 望 (尾去沢)

田口 有希 (十和田)

田中 晴菜 (八幡平)

辻 知哉 (小坂)

兔澤 詩織 (尾去沢)

内藤 菜理子 (花輪第一)

中館 将司 (花輪第一)

奈良 瑛子 (花輪第一)

奈良 昇悦 (花輪第一)

担任 伊藤栄治先生

担任 伊藤栄治先生

柳澤 幸太 (十和田)

柳館 慎太郎 (十和田)

吉村 育恵 (花輪第二)

米内 和貴 (花輪第二)

渡部 士子 (花輪第二)

(計147名)

第五十七期 学年幹事

(平成十六年度 卒業)

A組 阿部 正樹

B組 木村 泰基

C組 兔澤 正隆

D組 米村 和貴



平成16年度同窓会予算書

平成16年4月1日～平成17年3月31日

●収入の部

項目	本年度予算額	前年度予算額	増減	摘要
1.会費	2,071,731	2,378,240	-306,509	
(1)会費	1,400,000	1,700,000	-300,000	同窓生会費
(2)入会金	671,731	678,240	-6,509	476*120円*12ヶ月 *0.98
2.繰越金	397,801	304,050	93,751	
3.雑収入	468	500	-32	
合計	2,470,000	2,682,790	-212,790	

●支出の部

項目	本年度予算額	本年度決算額	増減	摘要
1.会議費	50,000	50,000	0	総会
2.会務費	890,000	940,000	-50,000	
(1)旅費	280,000	300,000	-20,000	支部総会
(2)消耗品費	30,000	30,000	0	のし袋・ タックシール他
(3)通信費	530,000	550,000	-20,000	切手・送料
(4)払込手数料	50,000	60,000	-10,000	郵便振替手数料
3.事業費	690,000	790,000	-100,000	
(1)印刷費	500,000	550,000	-50,000	同窓会報他印刷代
(2)記念品費	120,000	150,000	-30,000	卒業生へ記念品
(3)広告費	50,000	50,000	0	年賀他
(4)行事費	20,000	40,000	-20,000	同窓会入会式
4.渉外費	120,000	120,000	0	
(1)負担費	10,000	10,000	0	在京同窓会連合会費
(2)渉外費	80,000	80,000	0	祝賀会等
(3)慶弔費	30,000	30,000	0	祝電・弔電他
5.助成費	350,000	400,000	-50,000	部活動後援会・ 部激励金
6.備品費	13,000	13,000	0	卒業アルバム
7.積立金	300,000	300,000	0	定期預金
8.雑費	7,000	19,790	-12,790	
9.予備費	50,000	50,000	0	
合計	2,470,000	2,682,790	-212,790	

平成15年度同窓会決算書

平成15年4月1日～平成16年3月31日

●収入の部

項目	本年度予算額	本年度決算額	増減	摘要
1.会費	2,378,240	2,001,700	-376,540	
(1)会費	1,700,000	1,328,500	-371,500	同窓生会費
(2)入会金	678,240	673,200	-5,040	2,806人*120円+ 1,402人*240円
2.繰越金	304,050	304,050	0	
3.雑収入	500	5	-495	利息
合計	2,682,790	2,305,755	-377,035	

●支出の部

項目	本年度予算額	本年度決算額	増減	摘要
1.会議費	50,000	33,971	16,029	同窓会総会
2.会務費	940,000	592,719	347,281	
(1)旅費	300,000	27,969	272,031	宮城支部総会
(2)消耗品費	30,000	18,300	11,700	のり・ゴムバンド
(3)通信費	550,000	500,890	49,110	切手、同窓会報送料
(4)払込手数料	60,000	45,560	14,440	郵便振替手数料
3.事業費	790,000	594,071	195,929	
(1)印刷費	550,000	444,887	105,113	会報・趣旨書・ サラ印刷代
(2)記念品費	150,000	101,619	48,381	卒業生へ記念品
(3)広告費	50,000	47,565	2,435	必勝広告・総会案内 広告・年賀広告
(4)行事費	40,000	0	40,000	
4.渉外費	120,000	19,400	100,600	
(1)負担費	10,000	6,000	4,000	宮城支部総会負担金
(2)渉外費	80,000	13,400	66,600	祝賀会等
(3)慶弔費	30,000	0	30,000	
5.助成費	400,000	325,000	75,000	部活動後援会、 部激励金
6.備品費	13,000	12,300	700	卒業アルバム
7.積立金	300,000	300,000	0	定期預金
8.雑費	19,790	0	19,790	
9.予備費	50,000	30,493	19,507	80周年実行委員会議
合計	2,682,790	1,907,954	774,836	

収入総額	支出総額	差引残高	定期預金
2,305,755	1,907,954	397,801	5,119,512



お知らせ

雪深い鹿角の里でも、ようやく春の気配を感じられる頃になりました。同窓会員の皆様、いかがお過ごしですか。

さて、母校はいよいよ今秋、創立八十周年を迎えます。(新校舎完成に伴い、実際には一年早いお祝いとなります。)順次、準備が進められておりますが、記念誌作成委員会では母校の懐かしい写真をさがしております。枝垂れ桂ゆれる女学校時代のたすまいや、旧校舎への引越し風景など、貴重な一枚をお貸し下さる方は、花輪高校同窓会事務局までお知らせください。宜しくお願いいたします。

平成15年度花輪高校同窓会の事業活動に関する会計監査にあたり、各関係帳簿、書類などを調査しましたが、いずれも正確に、かつ適正でありましたのでご報告申し上げます。

平成16年9月29日

会計監査 石川 成夫
会計監査 山崎 忠義